次期農業基本計画について（概要）

資料２－２

○計画の策定にあたっては、市の最上位計画である千葉市基本計画やその他の関連計画はもちろん、国や県の計画との整合・調和・連携を図る。
　また、農政推進協議会・農政審議会等の現場の農業者の意見や市民の意見も踏まえた内容とする。
○2020年農林業センサスにより明らかとなった千葉市農業の現状を踏まえ、今後も本市農業の持続性を確保していくための基本目標を設定する。
○農林業成長アクションプランの考え方をベースに、基本目標の達成に向けた政策の方向性を示し、かつ施策を展開していくための計画とする。

市の上位計画・関連計画

○上位計画　千葉市基本計画（R5～R14年度）
○関連計画　千葉市都市計画マスタープラン
　　千葉市環境基本計画　等

国や県の計画

○国の計画　食料・農業・農村基本計画
　　みどりの食料システム戦略
○県の計画　千葉県農林水産業振興計画　等

農業者・市民の意見

○農業者　農政審議会、農政推進協議会
　　農業者ヒアリング
○市　民　市民アンケート　等

整合・調和・連携　　整合・調和・連携　　反映

千葉市農業基本計画(R5年度～R9年度)

◆千葉市農業の現状

（出所）2020年農林業センサス・千葉市農政部による試算

①農業経営者の減少と高齢化　（人、%）

	2005年	2020年	増減率
全体	1859	911	▲51%
40代以下	174	50	▲71%

40代以下の青年農業者が著しく減少。
2030年には、**２１人まで減少**すると試算。

②販売額が多いほど減少率は鈍化　（人、%）

販売規模	2005年	2020年	減少率
～300万円	1446	658	54%
300～1000	306	163	47%
1000～3000	73	59	19%
3000万円～	34	31	9%

③販売規模が3000万円超の経営者の占める割合が倍増

１.８％（2005年）　**倍増**→　３.４％（2020年）

2030年には、**４.３％まで増加**すると試算。

◆千葉市農政の課題

本市農業が今後１０年先を見据えて持続性を確保していくためには、**４０代以下の青年農業経営者を確保**し、**収益を上げることができるように支援**する必要がある。

◆課題解決に向けた対応

今後１０年間（2020年～2030年）の目標を設定し、達成のための各種施策を展開する。

◆策定スケジュール（予定）

令和４年度
・９月　農政審議会①（諮問）
・１１月　農政審議会②、農政推進協議会②
・１月　農政審議会③（答申）
・２月　パブリックコメント
令和５年度
・４月　**施行**